

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現

する。

Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

- ▶ 芸術表現コース
- ▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
スリタ ジョアナ
エクアドル I.S.M International Academy Quito, Ecuador 出身

〈学部の特徴〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



興味のある分野にとことん取り組んだ4年間。
この貴重な経験を、今後の企画に活かしたい。

進学したい大学で悩んでいたときに、キュレーション分野が学べる本学部を知り「こういう勉強がしたかった!」と進学を決めました。本コースには、学芸員資格取得に必要な博物館資料論や博物館学内実習をはじめとする実践的な学びが多く、貴重で面白い体験ができました。自分の学びたい分野を妥協せずに学べることができ、本当に良かったと感じています。他にも、地域活性化の取組みや映像制作など好奇心を刺激する学びも多く、充実した4年間でした。ここで培った展覧会企画の経験を活かし、卒業後は企画会社に就職します。企画運営の知識と経験をスキルアップし、ゆくゆくはミュージアムに関わる仕事にも携わりたいです。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
吉川 らら 福岡県 福岡中央高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつなげる 作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく ～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに出品し大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



興賀神社 三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。	武雄市 武雄市役所と連携して「文化を起点としたまちづくりデザイン」の企画・運営に取り組む。	吉野ヶ里 吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。	石橋文化センター 同センター（福岡県久留米市）内で現役のアーティストとのプロジェクトに取り組む。	SAGA ART WEEK 卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。
--	---	--	--	---

作品紹介

コンテンツデザイン



ほぐし水の三重点でピボット インスタレーション、サイズ可変
遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身

ミクストメディア



譜を起因とするごき 譜の作成から実践まで
福永 知花 福岡県 福岡女学院高等学校出身

西洋画



おばあちゃんの写真を思い起こして パネル、トレーシングペーパー、油彩、メディウム
河塚 彩和 福岡県 福岡女学院高等学校出身

映像デザイン



夢裡 シングルチャンネル映像（HD、ステレオ、カラー）、10min
楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身

有田セラミック



美少女戦士私 磁器、ウレタン、毛糸、木材、錆込み成形、手捻り、練り込み技法
岩崎 尚香 熊本県 熊本信愛女学院高等学校出身

施設紹介



有田エントランスギャラリー（有田キャンパス）
授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。



メディア収録演習室（本庄キャンパス）
4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。



芸術家
石原 雅也さん
文化教育学部 美術・工芸課程 美術・工芸選修
2016年3月卒業

【業務内容】
創作活動のほか、作品の搬入や展示会運営など、
芸術の専門家だからできる仕事に幅広く取り組む。

芸術家として、スタッフとして 常に芸術に関わり続けていきます。

芸術家やインストーラー（美術館などへの搬入業務）として活動し、佐賀市内でツー・パワンスというアートの運営メンバーとしても働いています。また2024年度からは、福岡県みやま市のアーティストインレジデンス事業にも参加しています。大学では、主に日本の1960年代から1970年前半の前衛芸術、現代美術を研究しました。特に前衛芸術からは、今の自分の思考、態度や作品制作に多大な影響を受けたと感じています。大学で一番の思い出は、展示前日の会場泊まり込み限界徹夜搬入制作。褒められたことはありませんが、あの時、あの場所でしたか生まれなかった生の奔流がありました。それがきっと私の原体験でもあります。これからも、私は常に悩みながら、失敗や成功を繰り返し、一つひとつの過程に対する納得を大切にしながら活動していきたいです。





詳細情報はこちら

芸術家として
私自身を深く知り
受け止められるようになりたい。



私は高校3年生の夏ごろまでは看護師を目指していましたが、自分で何気なくモノづくりをしていくうちに「私をこんなにも惹きつける芸術」というものに興味を持つようになりました。そこで芸術を学べる大学への進学を決意し、彫刻や工芸が学べるところ、様々な学問領域から芸術を学ぶために総合大学であることを条件に、佐賀大学を見つけました。現在は西洋画を専攻し、富田俊明先生のもとで、制作を通して自分自身と対話することを意識しています。自分自身が持つ感情やふと頭に浮かぶことなど全てを自分自身からのメッセージと捉え、作品に表現しています。私が「何を求めて芸術を志したのか」、大学での学びを通して明確になりました。芸術家として、孵化する準備を着実に進められていると思います。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
中川 心琴 愛媛県 松山東高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」と「創造思考」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

●美術家 ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレイン ●旭製作所 ●ノアデザイン ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●丹心窯 ●アサヒシューズ株式会社 ●チームシップ ●関家具 ●佐賀銀行 ●佐賀県庁 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

●佐賀大学大学院
●University of the Arts London/Camberwell College of Arts

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目		インターフェース科目			
	共通基礎科目「英語」					
	共通基礎科目「情報リテラシー」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎 (デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art ●デジタル表現基礎 ●文化経済論 ●比較オリエンタリズム研究 ●風土と地理学	●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学	学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI-II ●地域創生フィールドワークI-II ●国内外芸術研修		
		基礎科目 ●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法	●工芸理論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 ●デザイン基礎			
	美術・工芸		●日本画Ia・Ib・IIa・IIb ●彫刻Ia・Ib・IIa・IIb ●染色工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●漆・木工芸Ia・Ib・IIa・IIb ●日本画概論 ●漆・木工芸概論 ●西洋画基礎 ●製図 ●映像デザインI ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●西洋画Ia・Ib・IIa・IIb ●ミクストメディアIa・Ib・IIa・IIb ●視覚伝達デザインIa・Ib ●金属工芸Ia・Ib ●彫刻概論 ●窯芸基礎 ●染色工芸基礎 ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●応用木工芸	●日本画IIIa・IIIb・IIIc・IIId ●彫刻IIIa・IIIb ●染色工芸IIIa・IIIb ●漆・木工芸IIIa・IIIb ●西洋画概論 ●彫刻基礎 ●窯芸基礎 ●漆・木工芸基礎 ●地域ブランディング論 ●メディアアート論 ●インターンシップ	●西洋画IIIa・IIIb・IIIc・IIId ●ミクストメディアIIIa・IIIb・IIIc・IIId ●視覚伝達デザインIIa・IIb・IIa・IIb ●金属工芸IIa・IIb ●染色工芸概論 ●日本画基礎 ●ミクストメディア基礎 ●地域ブランディング演習 ●メディアアート演習	●卒業研究I-II
	有田セラミック	●陶磁成形技法I-II ●ロクロ成形I-II ●石膏型成型特別演習 ●陶磁特別演習I ●釉薬化学概論 ●装飾技法特別演習 ●アートプロデュース演習I ●装飾技法I-II	●石膏型成型I-II ●釉薬化学I ●陶磁史 ●衣食住文化論 ●食と器	●陶磁成形技法III ●ロクロ成形III ●陶磁特別演習II ●CAD/CAM I-II ●陶磁マーケティング ●装飾技法III ●石膏型成型III ●陶磁技法特別演習	●唐津焼演習 ●インターンシップ ●ロクロ特別演習 ●有田産業体験I-II	●卒業研究I-II

授業紹介

芸術表現A・B



美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論



表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I・II



有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統についての話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

西洋画

富田 俊明 准教授



「西洋画」の歴史的経緯を踏まえ、タブーや制限なしに現代のあらゆる視覚文化を涉猟し、真に現代的な絵画表現を追求します。

日本画

近藤 恵介 准教授



「日本画」が歴史の経緯において獲得した視点や技術を絵画制作を通して学び、基礎に据え、認識をほぐしながら今日の絵画表現を模索します。

視覚伝達デザイン

世利 幸代 准教授



視覚伝達デザインの授業では、まず基礎段階として定規やコンパスを使用した課題制作を行います。自分の手を直接使うことで、構成力やバランス感覚を習得します。

窯芸・装飾成形

甲斐 広文 准教授



単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

井川 健 教授

漆・木工芸

甲斐 広文 准教授

窯芸・装飾成形

近藤 恵介 准教授

日本画

世利 幸代 准教授

視覚伝達デザイン

田中 右紀 教授

窯芸

徳安 和博 教授

彫刻

富田 俊明 准教授

西洋画

鳥谷 さやか 准教授

染色工芸

三木 悦子 准教授

窯芸・プロダクトデザイン

湯之原 淳 教授

窯芸・造形



詳細情報はこちら

フィールドワークで得た
実践的な学びを活かしながら
暮らしに豊かさをもたらす仕事に



興味がある芸術活動や地域創生について、さまざまな視点から幅広く学べると思い、本学部を選びました。地域創生フィールドワークの授業では、「石橋文化センターにおけるキュレーションの実践」クラスで毎年秋に行われているプロジェクトに携わり、貴重な体験をしながらアートプロジェクトや美術館が担う役割について学びを深めることができました。実践的な学びの他にも、分野ごとに精通した教員が多いのも本学部の魅力です。また、数々の活動を通して他者との協働の難しさや楽しさを学び、積極的にコミュニケーションを取れるようになったことは、自分の大きな成長だと感じています。私は人を喜ばせることや役に立つことをしたいので、将来は何らかの形で人の生活に豊かさをもたらす活動や仕事に携わりたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
松尾 奏 長崎県 大村高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

●株式会社ユニクロ ●株式会社良品計画(無印良品) ●株式会社オカムラ ●株式会社岩田屋三越 ●株式会社電通九州 ●総合警備保障株式会社 ●株式会社レベルファイブ ●株式会社Cygames サイゲームス ●日本郵便株式会社 ●株式会社再春館製薬所 ●株式会社スチームシップ ●JR九州エージェンシー株式会社 ●東映株式会社 ●関家具 ●大創産業 ●旭化成ホームズ ●日本赤十字社 ●パルコ ●九州電力 ●モロゾフ ●カメラのキタムラ ●防衛省九州防衛局 ●九州管区行政評価局 ●佐賀県庁 ●朝倉市役所 ●大野城市役所 ●那珂川市役所 ●小城市役所 ●柳川市役所 ●神埼市役所 ●美術家など

〈進学先〉

●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	大学入門科目					
	共通基礎科目「英語」					
	共通基礎科目「情報リテラシー」					
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)					
			インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ● 地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ● 芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ● デザイン発想論 ● デジタル表現基礎 ● 職業キャリア論 ● マーケティング論 ● アートマネジメント ● 比較オリエンタリズム研究 ● Key Concepts in Art ● 風土と地理学 ● 文化経済論	● 芸術文化・地域創生論(国内外地域プロジェクト事例研究) ● 知的財産権学 ● 地域再生デザイン学	学部共通コア科目 ● 有田キャンパスプロジェクトI・II ● 地域創生フィールドワークI・II ● 国内外芸術研修		
	コース基礎科目	● 博物館概論 ● ランドスケープ ● 美術史基礎	● 地域再生論 ● Intercultural Communication and Art I ● 地域情報マネジメント演習 ● フィールドデザイン演習I ● エリアスタディー演習I ● コンテンツデザインI ● 映像デザインI ● ヘリテージマネジメント論 ● Intercultural Communication and Art I ● コミュニティビジネス ● 経営・流通演習I ● 視覚伝達デザインIa、Ib ● 情報デザインI	● 地域マネジメント論		
	地域デザイン		● デザインプロジェクト演習 ● コミュニケーションデザイン論 ● コミュニケーションデザイン演習 ● 地域ブランディング論 ● 地域ブランディング基礎 ● 博物館展示論 ● 博物館学内実習I・II ● 博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ● 博物館情報・メディア論 ● 美術史I・II ● 工芸理論 ● キュレイティング応用I ● アートプロデュース演習I・II ● 博物館経営論	● 地域ブランディング演習 ● メディアアート論 ● メディアアート演習	● コンテンツデザインII・III ● 映像デザインII・III ● メディアプレゼンテーション ● デザイン実践セミナー ● 情報デザインII・III ● インターンシップ	● 卒業研究I・II
	キュレーション			● 博物館学外実習 ● アートマネジメント特別講義 ● キュレイティング応用II ● ヘリテージサイエンス ● インターンシップ ● 美術史III		● 卒業研究I・II
	フィールドデザイン	● 考古学I	● 考古学II・III ● 考古学演習I・II ● 地域史論I・II ● 陶磁史 ● ヘリテージマネジメント演習 ● 文化財の保存と活用 ● Critical Studies in Language and Image I・II・III ● Intercultural Communication and Art II・III ● アーカイブズ論	● 都市空間論I ● 都市・地域空間史 ● 考古学実習I(室内) ● 製図 ● アートマーケティング論	● 考古学IV ● 地域史論III ● 古文書解読演習 ● 都市空間論II ● フィールドデザイン演習II ● 博物館の政治学 ● エリアスタディー演習II ● 考古学実習II(野外) ● 地域史演習	● 地域調査分析 ● 地誌学 ● 古文書解読演習 ● 経営・流通演習II ● Art in Context ● インターンシップ

授業紹介

映像デザイン



映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context



アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を実現したり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習



美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

博物館資料保存



石井 美恵 教授
美術品の価値や保存について実資料を用いて学びます。

地域マーケティング

山口 タ妃子 教授
地域活性化をマーケティングにおける「地域ブランド」という視点から考察。特にゼミでは地域に実際に出てフィールドワークの中から地域課題を発見し、解決策を模索していきます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授
人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

アートプロデュース



花田 伸一 教授
現役のアーティスト・学芸員等と接しながら美術展やアートプロジェクトの企画・運営について実践的に学びます。

教員紹介

阿部 浩之 准教授

情報デザイン

有馬 隆文 教授

都市デザイン

石井 美恵 教授

博物館資料保存

栗林 賢 准教授

地理学

重藤 輝行 教授

考古学

土屋 貴哉 教授

コンテンツデザイン

中村 隆敏 教授

映像デザイン

花田 伸一 教授

アートプロデュース

藤井 康隆 准教授

博物館学

山口 タ妃子 教授

マーケティング

山崎 功 教授

アジア研究・国際関係

吉住 磨子 教授

美術史

HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授

異文化間コミュニケーション